2001

高松市の
姉妹・友好都市

Takamatsu International Association
TIA
財団法人 高松市国際交流協会

目　　次

○ セント・ピーターズバーグ市 …………………………… 1

○ トゥール市 …………………………… 7

○ 南　昌　市 …………………………… 13

姉妹都市 セント・ピーターズバーグ市（St. Petersburg）

□姉妹都市提携　1961年10月5日

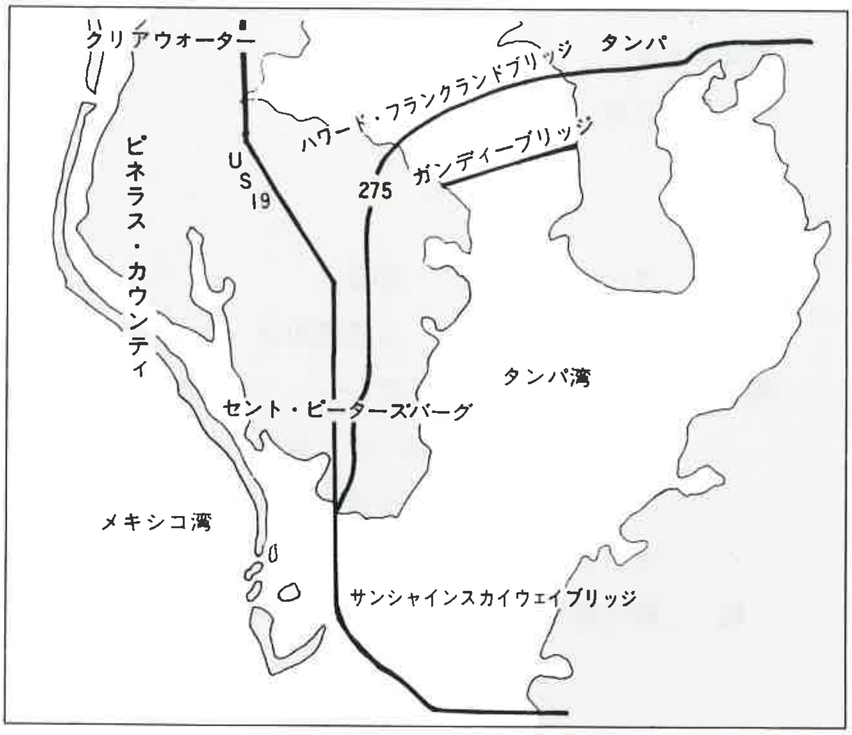
□所　　在　アメリカ合衆国フロリダ州

（市役所所在地 P.O.Box 2842 St.Petersburg,Florida 33731 U.S.A）

アメリカ合衆国

フロリダ半島

セント・ピーターズバーグ



〈セント・ピーターズバーグ市の概要〉

1　人　　口

251,000人（2001年）

2　面　　積

148.48 ㎢

3　地　　勢

フロリダ半島の中央部西海岸に位置し、海抜２～５ｍの平地のみで湿地帯はない。南部はメキシコ湾を望み、大小の入江、広く長く続く砂浜およびコバルト色の海のコントラストにより風光明媚で、東部はタンパ湾があり、ハワード・フランクランド橋、ガンディー橋でタンパ市へ通じる。

また、市内外にセミノール湖、マジョレ湖などの大きな湖がある。

東経　82度38分　　　　北緯　27度46分

4　都市の性格

サンシャイン・シティと言われるほど気候的に恵まれ、フロリダ州第２番目の避寒保養地であり、ピネラス・カウンティ（ピネラス郡）の中心都市。

5　気　　候

亜熱帯気候に属し、温暖である。

年間平均気温　23.3℃（１月平均21.1℃　７月平均26.6℃）

年間降水量　134.9㎜

年間日照日数　361日

6　交　　通

道　路：タンパへ　30分

オーランドへ　１時間30分

飛行機：タンパ空港からマイアミへ　１時間

ニューヨークへ　１時間30分

ロサンゼルスへ　５時間

セスナ機専用のアルバートウィッティド空港がある。

船　：観光船やクルーズの船が出ている。２～３日でバハマやカリブ海へ行く事ができる。

7　沿　　革

16世紀頃、ヨーロッパからの探検隊がフロリダに上陸し、金を探し歩いた。セント・ピーターズバーグ市にも、有名な探検隊長の名であるデソートと呼ぶ素晴らしいビーチパークがある。1879年、ジョン・ウィリアムス氏が、気候の良い健康的な場所に住むため、デトロイトからセント・ピーターズバーグに移り住み、その彼の援助を受け、ロシアからの移民であった鉄道事業家のピーター・ディーメンズ氏がこの地域の発展に尽くした。ディーメンズ氏の故郷が、ペテルスブルグ（前のレニングラード、英語読みでピーターズバーグ「現在のサンクトペテルブルグ」）であったことから、セント・ピーターズバーグと呼ばれるようになり、1888年に市制を施行した。1885年にアメリカ・メディカル・アソシエーションにより、最も健康的な場所として公表され、引退・退職者の憧れの地となっている一方、フロリダ州において、隣のタンパ市に次いで急成長しており、若者の人口も増加しつつある。

8　主な観光地・施設

〔ピ　　ア〕

ピアは（桟橋）は、タンパ湾につき出た船着場であったが、現在では、ウォーターフロント開発により、観光名所となっており、桟橋先端にある逆ピラミッド型の建物の中に、ギフトショップ、水族館、レストラン等がある。あたりには、市のシンボルであるペリカンがたくさんたわむれている。

〔セント・ピーターズバーグビーチ〕

メキシコ湾沿岸に3㎞余りもつづく魅力的な白浜の海岸サンコーストビーチの一部が、セント・ピーターズバーグビーチである。冬には、ヨーロッパやカナダなどからの観光客でにぎわい、美しい風景と輝く太陽が人々を魅了する。

〔トロピカーナ球場〕

1990年春にオープンした野球や各種イベント用のドーム。ケーブルを張り渡す方法で建てられており、この種のドームでは、全米唯一であり、世界一大きいと言われている。野球のメジャーリーグ、タンパベイ・デビルレイズの本拠地でもある。

収容人員　　45,360人

〔アラン球場〕

セントルイス・カージナルス、ニューヨーク・メッツの春季トレーニング場、その他３Ａ、２Ａの公式野球場。市のお祭りのパレードにも使用される。

収容人員　25,000人

〔ベイフロントセンター〕

音楽会、ブロードウェイなどのショーに使用される公会堂。　2,300席

２階はバスケットボール、アイスホッケー、インドアサッカー、サーカス、また、大きなコンサー

トに使用される。　6,000席

〔サンシャインスカイウェイブリッジ〕

市の南端から海上を渡り、サラソタ市へ通じる橋。1980年５月、朝のラッシュ時に貨物船が橋脚にぶつかり、橋が落ちたため、新しく建造し、1987年４月に開通。

大変美しいケーブルの斜張橋で、全長4.1マイル（6.56㎞）。

〔ダリ美術館〕

スペインの画家、ダリのアメリカ最大のコレクションであり、ダリの大作と言われるものの４分の１が所蔵されている。1982年に、モース夫妻の寄贈によるコレクションで、クリストファー・コロンブスのアメリカ発見、幻覚剤闘牛士などの大作が鑑賞できる。

〔セント・ピーターズバーグ美術館〕

中世紀の絵画、彫刻、装飾芸術などが展示され、主に、ヨーロッパ、アメリカ、南米のコロンビア、東南アジアの芸術家の作品が多い。

〔ハス美術館〕

初期のフロリダの建造物、古い時代のかじ屋、鉄道駅、写真屋、歯科医院、美容院などを再現している歴史博物館。

〔サンクンガーデン〕

沈没地に水が溜まって池となっていた土地を庭園に作り上げたもので、観光名所となっている。おとき話のジャングルのように、色とりどりの南国の鳥や花、そして木々が茂る美しい庭園である。

〔バイセンティニアル公園〕

ピクニックコースの道、海岸通りの散歩道、自転車道、釣り場、円形演技場などがある。その他、州最大の610隻ものボートを有する市立マリーナ、ユニークなボイド・ヒル公園、８つの公立プール、５つの公共海水浴場、18のレクリエーションセンターと６つの公立図書館がある。

9　産　　業

農　業…柑橘類、特にオレンジ栽培が盛んである。

水産業…地形的に魚介類は豊富である。

工　業…市内中心都に僅かながら工業地帯があるが会社数は少ない。

商　業…人口増加とともに需用が年々増加し、商店街が２か所、デパート24か所および金融機関71か所を数える。

10　教　　育（ピネラス郡全体）

学制は、小学校６年、中学校３年、高等学校３年、大学４年である。

小学校	76校	中学校	21校	高等学校	15校
教会附属学校	72校	職業学校	11校	大学	４校

11　医　　療

病　院　数　9件

引退・退職者が数多く移り住むことから、医療関係サービス業が発達している。

12　福　　祉

セント・ピーターズバーグ市は、65歳以上の老人が全人口の25％以上を占めており、老人福祉施設は多い。市において、老人に関する各種のサービスが行われている。給食サービス、案内、照会、学習、看護相談、雇用サービスなど。

また、幼児の託児所・保育所は、24か所ある。

（ほとんどが2才～6才。1才から受け入れる所は4～5か所。）

13　スポーツ

フロリダは昔から、野球（大リーグ）のスプリングトレーニングの地として知られており、これまで数々のチームが訪れている。

トロピカーナ球場（ドーム野球場）も完成し、気候に関係なく年間を通して野球が楽しめる。メジャーリーグ、デビルレイズが地元で誕生し、活躍している。ダウンタウンにはヨットハーバーがずらりと並んでおり、ボートショー、ボートパレードやヨット競技大会が開催される。ゴルフコースも10数か所ある。

14　祭　　り

毎年3月頃に、約90年の歴史を持つフェスティバル・オブ・ステーツと呼ばれるフロリグ州の祭りがセント・ピーターズバーグ市で開催され、数日間に渡って夜のパレード、コンサート、スポーツのコンペ等が盛大に繰り広げられる。

セント・ピーターズバーグ市が、広々とした美しい土地であることから、文化人が集まっており、アート＆クラフトのショーも多い。毎年5月には、メインセールと呼ぶ、腕をふるった美術家のフェスティバルがある。

また、海に面していることからシーフードにも恵まれ、冬の入り込み客の訪れはじめる10月頃になると、シーフードに関したいろいろなフェスティバルが開催される。

15　高松市とセント・ピーターズバーグ市との交流

○姉妹都市派遣留学生（昭和37年度から実施）

高松一高等教員	延べ	24人
高松市職員	延べ	19人

○姉妹都市親善留学生（平成２、３年度実施）

高松市民　　　　　　　　２人

○姉妹都市親善研修生および親善使節団（平成４年度から実施）

高松市民　　　　延べ　22人

○姉妹都市招へい教師（昭和41年度から実施）

招へい教師　　　延べ　35人

○高松一高国際英語コース生徒海外研修（昭和60年度から実施）

○高松一高への短期留学生（昭和59年度から受け入れ）

高校生　　　　　延べ　20人

○中学生海外親善使節団の派遣（平成元年度）

○青年海外親善使節団の派遣（平成２年度）

○姉妹・友好都市フェア等への参加（平成２年度）

市制100周年を記念して高松で開催した姉妹・友好都市フェアにセント・ピーターズバーグ市から物産等の出展、各種イベントへの参加

○姉妹校　　二番丁小学校とマキシモ小学校

○エッカード大学教授団来高（平成５、６年度）

○セント・ピーターズバーグ市代表団来高（平成５、７、10年度）

○市内の国際交流団体の相互訪問

これまで数多くの市民レベルの親善訪問、交流が行われている。

姉妹都市 トゥール市（Tours）

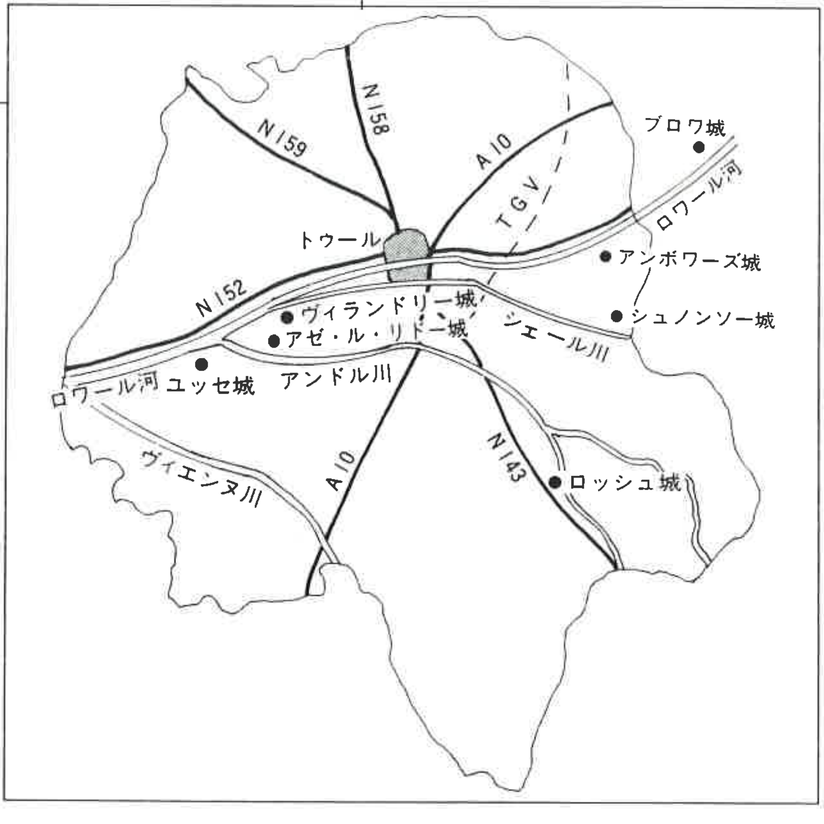
□姉妹都市提携　　1988年6月3日　トゥール市で調印

（1988年10月21日　高松市で調印）

□所　　　在　　フランス共和国アンドル・エ・ロワール県

（市役所所在地Cabinet du Maire 37037 Tours Cedex FRANCE）

フランス共和国



アンドル・エ・ロワール県

〈トゥール市の概要〉

1　人　　口

129,509人（1999年）

2　面　　積

34.36㎢

3　地　　勢

パリの南西約235㎞でフランス共和国のほぼ中心部に位置し、フランス最長の大河ロワール河とシェール川の合流点に形成された盆地にあり、豊かな自然に恵まれている。

東経　0度41分　　　　北緯　47度23分

4　都市の性格

アンドル・エ・ロワール県の県都で、経済、観光、文化都市。

フランスの庭、庭園の都と呼ばれ、ロワール地方の中心都市となっている。

5　気　　候

大陸性気候で、偏西風と北大西洋海流の影響により、四季がはっきりしている。

年間平均気温　　11.2℃（1月平均3.8℃　7月平均19.1℃）

年間降水量　　687㎜

年間日照日数　　1,859時間

6　交　　通

フランスのほぼ中心に位置するだけでなく、スペイン、イタリア、ドイツ、イギリスの西欧主要各国から等距離にあり、フランスの中西部の道路と鉄道の要衝として、西ヨーロッパの十字路となっている。

1990年9月、ＴＧＶアトランティックが開通。パリ～トゥール駅を55分で結んでいる。

また、トゥレーヌ地方は、5大幹線道路の中心地に位置する。

鉄　　道	：パリへ	55分（ＴＧＶ）
	ボルドーへ	2時間15分（ＴＧＶ）
	リヨンへ	4時間51分
	ナントへ	1時間35分

高速道路　：（A10）

パリへ　　　　2時間

ポワチエへ　　1時間

（参考）東京（成田）～パリ　約13時間（飛行機直通の場合）

パリ（シャルル･ドゴール空港～モンパルナス駅）～（ＴＧＶにて）～トゥール１時間40分

7　沿　革

トゥール市は、フランスの歴代の王達が美しいお城を競って建てたトゥーレーヌ地方の中心都市として発展してきた。

18世紀にロワール河とシェール川を結ぶ南北の幹線道路が開設され、この町の特徴ともいうべき、均衡のとれた都市計画の出発点になった。

1790年にアンドル・エ・ロワール県の県庁所在地となったトゥールは、経済、観光、文化の中心地として栄え、市街地には中世以来の古い建物が並んでいる。歴史的遺産もよく保存されており、シーザーの丘の付近にあるトゥール城を修復し、博物館としている。

また最近は、機械金属工業を中心に近代的都市としての発展も目覚ましく、伝統文化との調和のとれた美しい都市である。

8　主な観光地

ロワール河流域の古城巡りは特に有名で、パリ、コートダジュールに次ぐフランス第３の観光地であり、パリからの１日観光コースとなっている。

16世紀の王フランソワ１世がこの地に移り住み、こよなく愛したアンボワーズ城、ブロワ城、シュノンソー城がある。またロワール河支流のアンドル川流域には、シャルル・ペローの童話「眠れる森の美女」のモデルとなった幻想的なユッセ城、ロワールの古城の中で最も女性的といわれるアゼ・ル・リドー城やルイ11世で知られるロッシュ城などがあり、もう１本の支流、シェール川沿いにはヴィランドリー城がある。

また、フランソワ１世が文化発展のため、アンボワーズ城へ招いたレオナルド・ダ・ヴィンチ、トゥレーヌ地方を舞台とした傑作「谷間の百合」の大作家バルザックをはじめ、ロンサール、ラブレー、デカルトなど歴史上の名だたる人達の住居やゴシック建築の傑作であるサンガシア寺院などが観光地となっている。

その他の観光地

歴史的建築保存地区（プリュムロー広場付近）、シャルルマーニュの塔、サン・ジュリアン教会、サン・マルタン教会堂、時計塔、ギルド博物館、ガーウィン・ルネッサンス・マンション、ボタニック公園（植物園）、トゥール美術館、トゥール市庁舎およびトゥール駅（19世紀末、パリ・オルセー美術館の設計者、ヴィクトル・ラルーの作）

9　産　　業

伝統的なものとしては、農業、酪農、皮革、織物工業、製紙業が盛んでブドウ酒の産地としても有名である。ロワール渓谷のワイン（シノン、ブルグイユ、ブーブレ、モンルイ）は定評があり、全世界に輸出されている。また、17世紀にヨーロッパ各地で様々な産業を支えてきた職人がトゥレーヌ地方に集まってきたことから、細工技術の伝統が現在にも受け継がれている。有名なコロール人形は、その伝統技術の一つである。

近代的なものとしては、化学工業、医薬品工業、機械工業、電気工業、電子工業、プラスチック工業がある。また、ヨーロッパを縦横に貫通する軸の交差地点という地理的条件に恵まれ、新しい経済空間と各種ビジネスセンターが形成され、企業や各種研究機関も多数立地している。さらに、専門大学や研究所、産業の立地を図るテクノポル（フランス国内に20あるテクノポリスの一つ）がある。

また、毎年５月に見本市が開かれる。この見本市は歴史が古く、県や地域のさまざまな経済活動の接触と交換の場であり、製品と業種の多彩さ、質の高さが好評である。毎年９月には農業見本市が開かれ、畜産が主となっている。

10　教　　育

初等教育は、５年間（６～11歳）、中等教育は７年間（日本の中学校、高校に当たる）、そして高等教育（大学）へと続くが、大学に入る前に入学資格試験（バカロレア）がある。

幼稚園	40
小学校（５年制）	63
中学校（４年制）	22
高等学校（３年制）	8
工業高等学校	10
職業高等学校	3
大学	1
トゥレーヌフランス語学院	外国人向けフランス語講座が開設され、一年間を通して多くの外国人が純粋なフランス語を勉強している。

また、成人、学生を問わず日本語学習が盛んであり、1991年４月より開校した甲南学園の中・高校生と地元の活発な交流も期待されている。

11　医　　療

市内に30の医療センターがあり、その１つにトゥール地域医療センターがある。

他に、トルソー病院があり、第２精神療法センター、産院がある。

私立病院は7ヶ所である。

12　福　　祉

市立の老人ホーム（老人専用住宅）が8か所あり、有料である。うち1か所は、ワンルーム・マンション形式である。

他に、ホームレストラン6か所、養老院が2か所ある。

託児所は11か所、保育所（3か月～4歳）は6か所ある。

13　主な施設

市立図書館、博物館、美術館、映画館などがある。トゥール大劇場では、オペラ、演劇が上演される。大きなコーラスグループが3つある。

市の中心部からごく近くに憩いの森（アートの森、ラルセーの森）があり、面積は約400ヘクタールで、市民にとって遊歩とくつろぎの場となっている。

また、都市の緑地が230ヘクタールあり、年間750,000本以上の花、植木が植えられている。

1993年9月にはトゥール駅前に収容人数2千人の国際会議場、ル・ヴァンシーがオープンし、各種講演会、演劇、バレエ、コンサート等が開催されている。

14　スポーツ

市立スポーツ・センターにはオリンピックプール、スケート場、室内競技場、体育館、スポーツ医学センターなどが設置されている。

市民スポーツ団体は約160クラブあり、約90種類のスポーツを実施している。主なものは、フットボール、陸上競技、バスケットボール、アイスホッケー、バレーボールなどである。また、身体障害者スポーツとしてバスケットボールにも力を入れている。

15　高松市とトゥール市との交流

○姉妹都市派遣留学生（平成2年度から実施）

　　高松市職員　　　延べ　6人

○姉妹都市親善研修生留学生の相互派遣（平成2年度から実施）

　　高松市民　　　　延べ　8人

　　トゥール市民　　　　　2人

○中学生海外親善使節団の派遣（平成元年）

○青年海外親善使節団の派遣（平成2年度）

○トゥールフェアへの出展（平成2年度）

　　トゥール市で開催されたトゥールフェアに参加し、高松の物産等を出展

○姉妹・友好都市フェア等への参加（平成２年度）

高松市で開催した姉妹・友好都市フェアなどの行事にトゥール市代表団が来高し、式典、物産展等に参加

○市民海外親善使節団の派遣（平成３年度）

○親善使節等の相互訪問

これまで相互の親善訪問、交流が行われている。

友好都市 南　昌　市（Nanchang）

□ 友好都市提携　　1990年9月28日　南昌市で調印

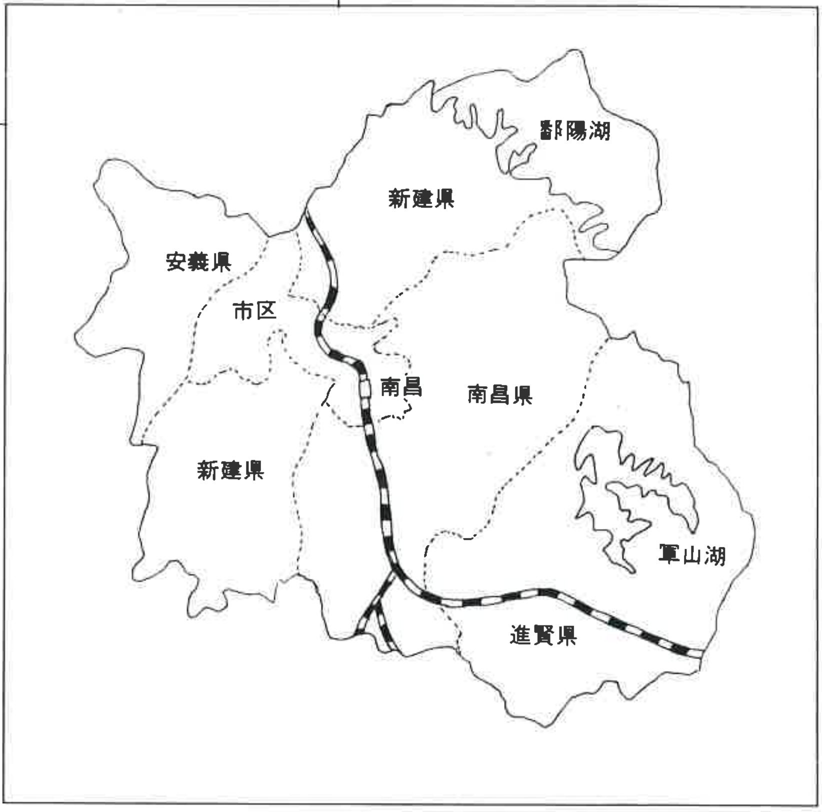
（1990年11月7日　高松市で調印）

□ 所　　　　在　　中華人民共和国江西省

（人民政府所在地　中華人民共和国江西省南昌市東湖区民徳路401号）

中華人民共和国

江　西　省



南　昌　市

〔市区〕東湖区、西湖区、青雲譜区、郊区、湾里区

〔郊県〕南昌県、新建県、進賢県、安義県

〈南昌市の概要〉

1　人　　口

4,300,000 人（2001年）

2　面　　積

7,402.36 ㎢（市区内 617.07 ㎢）

3　地　　勢

上海から南西約826 ㎞で江西省の北部に位置する。

市全域は主として平地であり、平均海抜25m、最高地点でも841.4m。川と湖に囲まれた緑豊かな都市である。

東経　116度０分　　　　北緯　28度24分

4　都市の性格

江西省の省都として、省の政治、科学、文化の中心都市。

5　気　　候

亜熱帯気候に属し、温暖である。

年間平均気温　　17.6℃（１月平均5.9℃　７月平均29.0℃）

年間降水量　　1.314 ㎜

年間日照日数　　2,078時間

6　交　　通

南昌は古代より交通の要衝であり、現在も、道路、鉄道、飛行機といった交通の拠点となっている。

道路は江西省全域を網羅しているほか、湖南、湖北、福建、安徽などの各省に通じている。鉄道では、毎日始発列車として北京、上海、南京、福州、長沙、景徳鎮行きなどがあり、広州、昆明、重慶行きの列車も南昌を通過する。飛行機は、北京のほか上海、広州、深圳などとの間に便がある。

鉄　道：上海へ　　　12時間（特急列車）

飛行機：上海へ　　　１時間

　　　　北京へ　　　２時間

（参考）大阪（伊丹）～　上海　２時間

　　　　東京（成田）～　上海　３時間20分

7　沿　　革

南昌の地で街が開かれたのは、漢の高祖５年（紀元前202年）に、劉邦の命により兵が進駐し、豫章郡と南昌郡を設けた時に始まり、以来悠久の歴史を有している。

古代から南昌は中国の中部から南部への交通重要地区であり、歴代に渡って県治、郡治の所在地であった。

伝わるところによれば、「南昌」の名は「南方昌盛」、「昌大南彊」から取ったものという。文化経済ともに栄え、優れた人材を輩出してきたところから、「物華天宝」、「人傑地霊」と呼ばれている。

1926年、北伐軍が南昌を占領後、南昌市と呼ばれるようになった。（1926年市制を施行。）その翌年の1927年８月１日、周恩来、朱徳、賀龍、叶挺、劉伯承などが指導する武装団がこの地で挙兵したため、南昌は中国人民解放軍誕生の地となっており、これを記念する八一起義記念館等が市内にある。

解放軍は1949年５月22日に南昌を解放、古都の発展の歴史において、新しい１ページが開かれ、以来大規模な建設により、近代的な都市づくりが行われた。

8　主な観光地

豊富な文化遺産があり、美しく優れた名勝古跡が数多くある。

〔八一起義記念館〕

８月１日の武装蜂起における指揮部の旧跡。

〔八一起義記念館〕

市中心都の人民広場に建てられている武装蜂起の記念塔。

〔滕　王　閣（とうおうかく)〕

江南三大建築物の一つ。唐の時代の653年に建てられたが、その後、建築と損壊を繰り返し、1926年に損壊した。最近再び全面修復され、一般に公開されている。

初唐四傑の一人であった王勃の名文「滕王閣序」は世に良く知られている。

〔八大山人記念館〕

明末から清初めにかけて活躍した書画の巨匠である八大山人（朱道朗）が隠遁した場所であった青雲譜を、1959年に記念館として設立したもので、貴重な書画を所蔵している。

〔青山湖風景区〕

面積４㎢の青山湖を中心として、南北に５㎞、東西２㎞にわたり美しい自然が残っており、市民の憩いの場所である。

〔八一大橋〕

南昌市を流れる贛江（かんこう）にかかる大橋。

〔江西省博物館〕

旧石器時代から清代に至る江西省の貴重な文物などを展示している。

〔江西工芸美術館〕

景徳鎮の陶磁器や井岡山の竹細工品など、江西省の工芸美術品の逸品を展示している。

〔江西省展覧館〕

常設の見本市会場で、南昌地場産品である各種機械製品、飲食料品等の展示即売会などが催される。

〔順　外　村〕

南昌市の農村開発モデル地区。野菜生産や養豚などが盛んで裕福村となっている。

その他の観光地として、東湖および百花州、西湖および孺子亭、水観音亭、人民公園などがある。

9　産　業

上海経済区の中心工業都市の一つである。工業では、主要産品として紙巻煙草、綿布、農業肥料、セメント、自動車、鉄鋼、タイヤ、ゴム長靴、石鹸、ディーゼル機関車、腕時計、自動車、ラジオ、琺瑯（ほうろう）製品、スフ綿、トラクターなどがある。全工業的システムの整った企業が多くなっており、工場は2,381余ある。工業総生産額のうち、全民所有制企業（全人民所有の国営企業）によるものが78.1％で、集体所有制企業（郷営企業などの集団企業）によるものが21.9％である。

農林水産業では、水田18万ヘクタール、畑４万ヘクタール、森林6.7万ヘクタールがあり、農業、総生産額は24.98億元で、穀物の収穫が174.17万トンである。穀物、搾油用作物、綿花、柑橘類、茶、野菜、家畜、林業、水産業の生産基地がある。

また、工芸美術も古い歴史があり、独特な陶磁器や玉石の彫刻、各種の金、銀の飾り物などがある。

10　教　育

学制は小学校５年、中学・高等学校６年、大学４年である。就学は６歳。小学校、中学校は学区内住居の生徒が学区の学校へ入学する。高等学校進学の場合、全市統一試験を行い、重点高等学校へはその成績の優秀な生徒を入学させ、それ以外の高等学校には、小・中学校同様に、最寄りの学校へ進学する。大学へは、全国統一試験がある。

	南昌市全市	南昌市市区
小　学　校　数	1,831	206
中学、高等学校数	250	125
大学、高等専門学校数	13	13

11　医　療

	南昌市全市	南昌市市区
病　　院　　数	146	62
診　療　所　数	657	515

12　社会福祉

大別して2種ある。一つは、国家機関や国営企業、集団企業などの職員と家族に対するもの。もう一つは、地方社会福祉制度。前者は、国家の労働関係部門の定め、および各機関の実情に則り実施される。後者は、南昌市政府が国家民生部の定めとともに、南昌市の社会状況をも考慮して、身寄り、所得、家がない高齢者や身体障害者、子供などに対し実施するものである。南昌市全市で、教育ないし健康回復のための施設が4か所ある。

13　文化・スポーツ

市内には種々の規模の図書館、文化館、クラブ、映画館、劇場などがある。また、京劇、贛劇（江西地方劇）、茶摘み劇（南昌地方劇）など各種の劇団もある。

スポーツ施設としては、江西省体育館（陸上競技場、プール含）、青山湖にウォータースポーツの学校やスポーツ公園、また東湖に水泳場などがある。

14　高松市と南昌市との交流

○姉妹・友好都市フェア等への参加（平成2年度）

高松市で開催した姉妹・友好都市フェアなどのイベントに南昌市代表団が来高し参加

○友好都市提携記念品の相互贈呈

南昌市からは籐王閣の模型を（平成2年度）、高松市からは江戸時代高松藩藩主の御座船である飛龍丸の模型を（平成4年度）相互に贈呈

○行政研修生の相互派遣

高松市からの研修生6人、南昌市からの研修生8人

○高松市からの使節団の南昌市訪問

・高松市代表団（平成2年度から）
・青年海外親善使節団（平成2年度）
・中学生訪中親善使節団（平成3年度から毎年実施）
・市民親善使節団（平成8年度、9年度）

○南昌市からの代表団の来高

・金融代表団（平成3年度）
・卓球代表団（平成5年度）
・司法代表団（平成9年度）
・建築代表団（平成9年度）
・人民代表大会代表団（平成10年度）
・市政府代表団（平成11年度）
・南昌少年宮代表団（平成12年度）
・教育代表団（平成12年度）

○南昌市からの経済・技術研修生の来高

電気計装関係研修生、木材加工関係研修生、印刷関係研修生、看護実習生、農業研修生、

友好会館研修生が来高し、研修を受けている。

○友好提携5周年を記念し、高松・南昌友好会館建設（平成8年）

その他、北京で開催された日中友好都市卓球カーニバルへの両市選手団共同参加、両市図書館の図書の相互贈呈、小学校一行、バレーボールや卓球チームの相互訪問、中国物産展、写真展、南昌市少年宮高松公演、市民親善使節団などの交流が行なわれている。

高松市の姉妹・友好都市

発　行：2001年

Takamatsu International Association
財団法人 高松市国際交流協会

〒760-0017 高松市番町１丁目11－63
アイパル香川２階
TEL（087）837－6003
FAX（087）837－6005
E-mail:tia@kgw.enjoy.ne.jp